

令和3年

学徒動員等戦没者 追悼会

「友よ安らかに」空襲で亡くなった生徒の追悼会 高校生が平和の誓いを新たに

10月23日(土)、追悼会が鹿島高校の生徒有志と生徒会との企画運営で執り行われました。

学徒動員等戦没者の追悼会は、1993年を最後に途絶えていましたが、高校生平和大使を務めた川崎花笑さんの呼び掛けで、去年、学校そばの慰霊碑の前で、27年ぶりに開かれました。今年も、鹿島高校の生徒たちが企画しました。

追悼会には、ご遺族や鹿島高校の生徒など70人あまりが参列。献花をして、平和への誓いを新たにしました。



受付の様子



追悼の言葉(学校長)



生徒代表2年 中村百花さん

「若き10名の尊い犠牲者の皆様のご冥福をお祈りするとともに、平和な世界の構築に貢献していくことを誓います。友よ安らかに」と誓いを新たにしました。



献花



鹿島高等学校長のことば(趣意書より)

昨年10月、当時高校生平和大使であった本校生徒 川崎 花笑さん(現在3年生)の呼びかけにより、関係者の高齢化などによって途絶えていた鹿島高女と鹿島立教実業の戦没者追悼会を、両校の流れを汲む鹿島高校の生徒たちが、27年振りに復活させました。

生徒たちは、校史を紐解く中で10名の戦死の事実を知り、自分たちとほぼ同じ年齢で短い生涯を閉じた彼女たちを追悼するとともに、世界平和の実現に向けて決意を新たにす契機にしたいと願っての行動でした。

そして、今年もその思いを引き継ぐ生徒たちが、ささやかながら本追悼式を企画しました。

学校といたしましても、戦争の時代を生きた人の魂に触れ、新たな時代を築いていこうとする若者の取組みに共感し、鹿城会(旧鹿島高の同窓会)・大手門会(旧鹿島実業高の同窓会)のご協力を得ながら、準備を支援してきました。

かつての教室が見えるこの丘の上に建つ慰霊碑には、ご覧のとおり、「友よ安らかに」という言葉と10名のお名前が刻まれています。

この碑は、戦争によって、十代の若い命が失われた悲しい歴史を残し、二度と同じ悲劇を繰り返さないという悲願を込めて平成5年に同窓会によって建立されたものです。

今改めて碑文の前に立ち、10名の御霊に深く祈りを捧げますとともに、皆様には、戦没者、ご遺族、両校関係者の思いが後輩によって末永く守られていくことを見届けていただければ幸甚に存じます。

令和3年10月23日

佐賀県立鹿島高等学校 梶原 裕隆